ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンについて

日本で年間約 10,000 人が発症して約 3,000 人が死亡している子宮頸がんは、20～30 歳代で急増しています。主な原因がヒトパピローマウイルス（HPV）による性感染症で、感染前の 10 歳代にワクチンを接種することで、子宮頸がんを予防する効果があり、2013 年から定期の予防接種になりました。定期接種開始後、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が接種後に特異的に見られたことから、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではないとされています。

しかしながら、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの定期接種を中止するものではないため、対象者のうち希望者が定期接種を受けることができるように、対象者のみなさまには、周知を行い、接種機会の確保を図ることになりました。

接種につきましては、別添のパンフレットをよくお読みになり、さらに必要な情報につきましては、厚生労働省のホームページ等をご参照の上、ご検討くださいますようよろしくお願いいたします。

1．対象者　小学校６年生～高校１年生に相当する年齢の女性

※標準的な接種期間（望ましい接種期間）：中学１年生に相当する年齢の女性

2．ワクチンの種類

現在、定期予防接種として接種できる HPV ワクチンは、２種類あります。

各々の説明をよく読んでお選び下さい。

注）接種の途中で種類を変えることはできません。予約時までに種類を決めておきましょう。

ワクチンの種類		サーバリックス（２価ワクチン）（グラクソ・スミスクライン株式会社）	ガ―ダシル（４価ワクチン）（MSD 株式会社）
予防効果		・どちらのワクチンも、ﾋﾄﾊﾟﾋﾟﾛｰﾏｳｲﾙｽ（HPV）のうち、発がん性の強い 16 型・18 型の感染を防ぎます。ガ―ダシルは、他に発がん性ではない６型・11 型の感染を防ぎ、性病である尖圭コンジローマを予防します。 ・十分な予防効果を得るためには３回の接種が必要です。	
接種時期	１回目	初回接種	初回接種
	２回目	初回接種から１ケ月以上の間隔をおいて接種	初回接種から１ケ月以上の間隔をおいて接種
	３回目	１回目から５か月以上で、２回目から２～２ヶ月半の間隔をおいて接種	２回目から３か月以上の間隔をおいて接種
接種方法		ワクチン（0.5ml）を筋肉注射	

３．実施医療機関

医療機関	受付時間	予約	予防接種の種類		持ち物
			ｻｰﾊﾞﾘｯｸｽ	ｶﾞｰﾀﾞｼﾙ	
はげあん診療所 （２-５６７８）	月火木金　9:30～15:30	１週間前までに予約	○	○	・母子手帳 ・子ども医療費受給者証 ・健康保険証
豊川小児科内科医院 (0155-32-2310)	月火水木金土　8:00～11:00 月火木金　14:00～17:20	予約	○	○	
音更こどもクリニック (0155-32-2155)	月木金　8:30～11:30 14:30～17:00 火水土　8:30～11:30	予約	○	○	
帯広徳洲会病院 (0155-32-3030)	予約時にご確認ください	１週間前までに予約	×	○	

注）予診票は医療機関で受け取ることができますが、保護者の方が同伴されずに接種する方は予診票に保護者のサイン等の記載が必要となります。
　このような場合には、事前に予診票を送付することができますので、下記宛てにご連絡ください。

厚生労働省の勧告に基づき、現在、**本町ではヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種を積極的にはおすすめしておりません。**

●このご案内に関するお問い合わせ及び予診票送付の申し込み先

上士幌町役場保健福祉課健康増進担当　電話２－４１２８